

Ja-Net

July 2013 No. 66

季刊ジャネット

Ja-Net は Japanese Network の略です。「にほんご」を通して編集室と読者の皆様を結ぶ情報誌にしたいと考えています。

Contents 目次

2013 年 7 月 25 日発行

- View from the Other Side 3
T. K. Tan さん (香港)
- あちこち日本語ご紹介〈国内編〉..... 4
東京都新宿区
- あちこち日本語ご紹介〈海外編〉..... 5
スイス チューリッヒ
- 教材紹介 6
『改訂版 毎日使えてしっかり身につく はじめよう日本語初級』
『中級からはじめるニュースの日本語 聴解 40』
ベトナム語を母語とする日本語学習者にお勧めの教科書は ?
- なんでも情報 BOX 8

スリーエーネットワーク

1973 年 7 月 28 日創立

おかげさまで40周年 ありがとうございます。

株式会社スリーエーネットワーク

巻 頭
寄 稿

日本語教科書のこれまで

関 正昭

元東海大学教授



日本語教育史に学ぶ

7 月 27 日に、スリーエーネットワークの創立 40 周年記念イベントとしてパネルディスカッション『「教える」と『学ぶ』をつなぐー日本語教科書のこれから』が行われます。そこで、それに先立って、この場をお借りして「日本語教科書のこれから」ではなく「日本語教科書のこれまで」を大掴みに振り返っておきたいと思います。

日本語教育史を講ずるときに、私はたいてい次のような前置きから始めることにしています。

「バックミラーなしで車を運転するのは危険ですね。では、何のためにバックミラーはあるのでしょうか。後ろを見るためにあるのだ

でしょうか。いいえ、それだけではありません。正しく安全に“前に進むために”あるのです。日本語教育史研究も単に過去を振り返るだけにとどまってはなりません。日本語教育の進むべき方向を見定め、これからの日本語教育のあり方を考えることにこそその研究意義があるのです。『日本語教育史を学ぶ』ではなく『日本語教育史に学ぶ』のです。」

「日本語教科書のこれから」を考える際にも「日本語教科書のこれまで」を見ておく必要があると考えるのは上記のような私の研究観があるからにはほかなりません。

日本語教科書の変遷

さて、日本語教科書の変遷(日本語を母

語とする日本人教師が主導権を握り日本語を母語としない人々に対して日本語教育を開始した 19 世紀末以降)を大きくとらえるには、次のように 4 期(*はキーワード)に分けてみるとよいでしょう。

- 第 1 期 19 世紀末頃から 1940 年頃まで
*植民地政策、同化政策、留学生受け入れ、対訳法、直接法
- 第 2 期 1930 年頃からアジア・太平洋戦争終結時まで
*日本語普及政策、教科書の多様化、直接法から修正直接法へ
- 第 3 期 1950 年代、1960 年代の戦後日本語教育復興期

＊外交・文化・経済等の政策、戦前・戦後の連続、アメリカ構造言語学

第4期 1970年代以降現在まで

＊国際交流基金、留学生、技術研修生、中国帰国者、難民、年少者、介護士、看護師、ポスト・オーディオリンガル、コミュニケーション

1960～70年代以降は日本語教授法研究の進展や日本語学習者の急増など短期間で激しい動きがありましたので、さらに細かく時代を区切ってみることも必要です。佐々木倫子(2013.1.25)「社会的変動と日本語教育の40年間」Ja-Net 64号では、この時代の「国内日本語教育の大きな流れ」を次のように端的に示しています。

1960、1970年代
言語構造の理解と定着
1980年代半ば～
コミュニケーション能力
1990年代半ば～
社会の一員としての学習者
2010年代～
マイノリティとの連携

なかでも、1980年代後半は政策的にも教授法的にも大きな変動のあった時代であり、戦後日本語教育界のパラダイムシフトが起きたとも言われます。「留学生受け入れ10万人計画」が打ち出されたのは1984年のことでした。それにともなって、日本語学習者が激増し、その一方で日本語学校の乱立・日本語教師の資質の低下といった問題も噴出しました。よい意味でも悪い意味でも日本語教育界が活気づいた時代でもあり、教材開発にも弾みがついたと見なすこともできます。

しかし、それから20数年を経ようとして今日においては、教科書不要論さえ唱えられていることからわかるように、状況は大きく動こうとしています。作られた教科書・教材だけでなく、「教科書観」の変遷についてももっとダイナミックにとらえる必要があります。

教科書の背景にあるもの

いかなる教科書も、その時々々に恣意的に作られたものではありません。作られた背景には、さまざまな理念・ニーズ・誘因等がありました。

- ・言語政策的理念
- ・時代のニーズ
- ・学習者のニーズ
- ・日本語教育が行われた国別地域別ニーズ
- ・教授法理論の影響
- ・関連諸科学の影響
- ・人的つながり
- ・機関的つながり 等々

これらの理念・ニーズ・誘因は、あたかも幾種もの糸であざなわれた縄のごとく、各教科書は関連の糸で結ばれ、いわゆる系譜を形づくっていると考えられます。

たとえば、第3期の代表例としては国際学友会(鈴木忍)と言語文化研究所附属東京日本語学校(長沼直兄)の教科書が挙げられますが、両者とも人的・組織的繋がりから見ればそれぞれ第2期の日本語教育振興協会、国際学友会との強い関係が見出せます。第4期の『みんなの日本語』(スリーエーネットワーク)は、『新日本語の基礎』→その前身の『日本語の基礎』との「血縁関係」があります。人的・組織的繋がりから見れば、さらに遡ることもできるのですが、いずれにしても系譜を形作っている教科書は、意図的にその系譜の維持に努めてきたわけではなく、その時代のニーズ・学習者のニーズ・教授法研究の進展等により進化を遂げてきたという事実も見逃してはなりません。『みんなの日本語』も進化を遂げてきた一方で『日本語の基礎』以来の教科書作りの理念・コンセプトが貫かれていると見るべきでしょう。

吉岡(2013)によれば、日本国内で出版された日本語教材の数は、1970年代においては百数十種だったのに対して2000年代には五百数十種以上にものぼるということです。このように今日まで夥しい数の教科書・教材が作られてきたわけですが、その中には日本国内外の数多くの学習者に長く使われ、歴史に残る教科書になったものもあれば、一時的に話題を呼んだものの、瞬く間に忘れ去られたものもあります。

では、歴史に残る教科書にはどのような特長があるのでしょうか。私がこれまで調べてきた教科書開発の歴史から学べることは、下記のようなことが挙げられると思います。

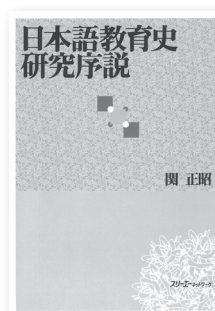
- 1) 揺るぎない理念、信念がある
- 2) 一つの教授法に固執しない
- 3) 総合性、汎用性をいたずらに標榜してい

- ない
- 4) 広く関連諸科学の知識や理論を導入・応用している
- 5) 編集・執筆者に教育現場での豊かな経験がある
- 6) 確かな日本語教育文法観が貫かれている
- 7) 「何を教えるか」とともに「何を教えないか」を考えている
- 8) 対象学習者、学習目標、学習時間(目安)を設定している
- 9) 学習者の協力がある
- 10) 試用⇔修正がなされている

上記10項目は「歴史から学べること」とはいえ、あくまでも私見です。さらに綿密に分析すればまた違った結論が見出せるかもしれません。ですから、上記のような特長がそろっていれば万全だと言えるのでしょうか。いいえ、そこには新たに11番目12番目……の特長が加えられなければならないでしょう。7月27日のパネルディスカッションでは出席者の知見と経験を生かして、まさにこのことが議論されることになるでしょう。

<参考文献>

吉岡英幸(2013)「日本語教材の変遷と現状」『日本語教育学会 2013年度第1回研究集会 予稿集』公益社団法人日本語教育学会・九州日本語教育連絡協議会
関正昭(1997)『日本語教育史研究序説』スリーエーネットワーク



関 正昭(せき・まさあき)

元東海大学教授。1947年鹿児島県生まれ。東京都立大学人文学部卒業。海外技術者研修協会日本語専任講師、東海大学留学生教育センター助教授、愛知教育大学教育学部助教授、鹿児島女子大学文学部教授、東海大学国際教育センター教授等を歴任。
[主な著書]
『日本語教育史研究序説』(スリーエーネットワーク)
『日本語教育史』(共著、アルク)、『日本語教育史論考第二輯』(共編著、冬至書房)、『日本語中級J501』(共著、スリーエーネットワーク)など

日本語人生

非日本語人生 VS 日本語人生はいつのまにか2：3。これからも続く日本語人生。

—日本語人生へ

私にとって日本語は単なる言語ではなく、人生です。イギリスの植民地であった香港という土地柄と、外省人（非広東省出身者）家庭というバックグラウンドもあって、小さいときから幾つかの言語は話せていましたが、生まれも育ちも香港なので、やはり気質的にホンコンガー（メディアではしばしば香港人を Hong Konger と英訳する）です。それが18歳で留学のために日本へ渡り、新たな日本語人生を迎えることになりました。

—音の質問魔

母語が声調のある言語 (Tonal Language) だったからか、あるいは高校まで音楽をやっていたのが原因か、声調、発音には非常に敏感で、常に気をつけていました。「雨」はア(高)メ(低)、ア(低)メ(高)、標準語ではどっち？「小金井」はこが(濁音)ねい、こが(鼻濁音)ねい、どちらが正しい？「あなた」はあなた(破裂する)、あなた(破裂しない)、私の耳には「あなだ」にしか聞こえませんが……、などたくさんの質問を、授業中はもちろんのこと、休憩や、放課後も先生を捕まえては、質問をしていました。私の通った日本語学校 JMA（すでに閉校）では、音の質問魔として知られ、先生方には敬遠されていたに違いありません。当時、KY という言葉はなかったにせよ、今思えば、もう少し周りの状況を判断して、気を配るべきでしたね。

—堀内先生との出会い

JMA 在学中、先生方には大変お世話になりました。ここで特筆すべき人物は恩師の堀内先生です。下宿先が先生のお宅の近くだったので、学校のレギュラーコース以外、週1、2度先生のお宅にもお邪魔して、指導



T.K. Tan (陳德奇)

1967 年香港生まれ。高校卒業までピアノのレッスンの毎日。

1985 年日本の音楽大学入学を目指して来日。音楽専門学校でピアノを学ぶ。その傍ら日本マレーシア協会 (JMA) で日本語を学び、明治大学商学部入学を機に進路変更。明治大学商学部博士課程前期修了後、日本企業に就職。2000 年香港に戻る。

現在、香港大学専修学院のシニアプログラムディレクターとして、日本語教育カリキュラム作成のみならず日本研修旅行、東山文化講座など多彩な日本語・日本文化講座を企画・実施。

をしていただきました。たくさんご馳走にもなり、生活面の面倒もみていただきました。今でも忘れられないのは、大雪が降った1987年の12月の第一日曜日のことでした。

この日は日本語能力試験の受験日で、朝、思いがけず先生よりお電話をいただき、「もう準備できた？車で送ってあげるから、家の前で待っててちょうだい」という内容でした。車の中で何度もお礼を言いますと、先生からは「いい点数をとって、志望校に入るといいね」という婉曲かつ暖かい励ましのお言葉をちょうだいしました。

—金子先生との出会い

大学生になると、交友範囲が一気にひろがりました。入学してまもないときに、歯を

検査する必要がある、アルバイト先の先輩に歯医者先生をご紹介いただきました。銀座に診療所を構える金子先生という開業医です。先生はいつも私を一日の最後の患者にします。授業などがあるので、時間的にはそのほうが助かりますが、先生の意図がわかりませんでした。診療が終わると、先生は必ずお食事に連れて行ってくださいました。それも鉄板焼、懷石、お寿司、割烹、ステーキなど日本を代表する料理の数々。先生がグルメでいらっしゃるのは想像でしたが、学生とは無縁な高級料理で、ご馳走になってばかりで申し訳ない気持ちが一杯でした。少しでもお返しのつもりで安価なお菓子を先生のところへ持って行きますと、先生からは「そんなことはなくていいから、これは君の社会勉強のためで、将来、陳君も人の先輩になったら、若い人の面倒を見てあげれば、それでいい」と先生の哲学を語ってくださいました。

—日本語教育と日本文化推進のために

言葉は単なる音、語彙、文句、段落から成り立っているのではなく、個人の躰、国の文化の表れだと思います。18歳で日本語に出会い、日本人の心、日本の文化に触れることになり、しだいにこの国と恋をし、魅了されていきました。そして留学を終え早20年が経とうとしています。そして今では日本語教育と日本文化の推進の仕事に携わるようになり、微力ですが私の日本での経験を周りと分かち合っています。これができたのは以上のお二方をはじめ、大勢の日本の恩師や学友、友人、同僚からの優しい言葉や励ましを通じて、私に日本の美を教えてくれたからです。

日本に感謝しつつ、今日も日本語人生を歩み続けています。



国内編

東京都 新宿区



日本文化を世界に発信

目白大学 留学生別科日本語専修課程 石沢弘子

目白大学新宿キャンパスは中落合にあります。このあたりは江戸時代京都・金沢に次ぐ着物染色の地で、「蛭狩り」の名所としても風光明媚な場所でした。明治・大正時代には文人や芸術家が多く移り住み、通学路には『放浪記』で知られる林芙美子の家も残っています。

目白大学は1994年に創設された学校ですが、伝統校には見られない若々しい活力が溢れています。学生数6,000人規模のため、学生と教職員の関係が近く感じられます。留学生別科は2008年に開講されました。外国語学部には4つの学科、英米語、韓国語、中国語、日本語・日本語教育学科がありますが、韓国語学科は2年次に全員韓国の提

携大学へ1年間留学することになっています。当初はそうした海外提携校からの交換留学生に対する日本語学習支援が眼目でしたが、様々な目的で来日する私費留学生が増え、2年前にコースとカリキュラムを改定しました。

コースは2つ、「総合日本語コース」と「大学院進学研究コース」です。修業年限は半年～最長2年までです。「総合日本語コース」は大学進学をめざす人、仕事や勉強、生活に必要な日本語力を高めたい人が対象で、N4～N1までの日本語能力別クラス編成となっています。「大学院進学研究コース」は大学院に合格できるまでの個人指導と、大学院で求められる研究活動に必要な専門的日本語能力を養成するカリキュラムを組み、



日本文化研修で日光へバス旅行

実績を挙げています。

この他、短期コースを年2回、2月と7月に実施しています。2週間という短い期間ですが、日本語と日本文化を融合させ、コミュニケーション能力の活性化を図り、日本での体験学習を重視したプログラムです。最終日には「わたしの見たニッポン」というテーマで発表会を開きます。

留学生別科のメリットは、目白大学や大学院を進路先として目標にできる、学部生との交流活動の機会が多い、大学のサークル、スポーツ大会、学園祭などに参加できる、図書館や食堂など大学の施設が使えることも挙げられます。

別科では留学生たちに日本をもっと知り、好きになってもらうため、バス旅行、コーラスグループを招いて日本の歌、茶道教室、歌舞伎鑑賞教室などを積極的にを行っています。

「外国人」が「留学生」になる場所

ヨシダ日本語学院 一条初枝

ヨシダ日本語学院は、都内に唯一残る「都電(荒川線)」の終着駅早稲田駅のすぐ近くにあります。学校から大隈通りを抜けて都電以外の最寄駅東京メトロ早稲田駅に向かう道、聞こえてくるのは中国語、韓国語、英語、スペイン語…早稲田大学の留学生たちでしょうか。日本語以外の言葉が行き交っている街です。

そして、私たちがふだん別館と呼んでいる2つの教室の前には、あの「神田川」が流れ、その川岸は春には見事な桜並木を見せてくれます。

長い時間そういう環境に身を置いていると、それがごく当たり前のことで何とも思わ

ない、そういうことがしばしばありますが、ヨシダ日本語学院を卒業した学生たちにとっては、やはりこの環境こそが学校そのものの、日本での生活を始めたばかりの自分自身の原風景となっているようです。

さて、そのヨシダ日本語学院の卒業式、正確には「ヨシダ日本語学院卒業式・卒業制作発表会」は、毎年3月15日前後に行われます。「卒業制作発表会」とわざわざあるのは、それが卒業試験でもあるからです。課題は、クラス全員で卒業式に何かを発表すること。

卒業クラスの学生たちは、10月から小論文クラスで学んだことを基にし、1月からは、プロジェクトワーク中心の授業に取り組みます。そこでは教師との関係も含め、自分で考え、日本語を使つてのさまざまなやり取りが必要です。学生たちは時にはけんかをし、時には誰からと言うのでもなく慰められながら、卒業制作の準備を進め、クラスの中に

自分の居場所を作っていきます。

日本語学校での生活は、学生たちにとって生活のほんの一部分でしかないのかもしれませんが、でも、だからこそ、それぞれの学生たちの共通の場所である学校で、最後の3か月、一緒に何かを作り上げる時間を共有するということには、ささやかなりとも意味があるのではないのでしょうか。

卒業制作をやり終えた後の晴れ晴れとした顔で、「明日からヨシダに来られない」と学生たちが寂しそうに言うとき、ああこの人たちはヨシダの本当の学生になったなという感慨を私は覚えるのです。



卒業式・卒業制作発表会



海外編

スイス チューリッヒ



ハイジの里から、 こんにちは！

Japanese Language Studio 校長 メルキ能子

皆さん、こんにちは！

スイスというと、まず皆さんが思い浮かべるのは『アルプスの少女ハイジ』ではありませんか？ そのハイジがお爺さんと暮らしていたとされるマイエンフェルドから車で1時間弱のチューリッヒという街で私はJapanese Language Studioという日本語学校を経営しています。

外国語が飛び交う国

スイスはヨーロッパの中央に位置し、ドイツ語、フランス語、イタリア語、そしてロマンシュ語と、公用語は実に4カ国語です。国連など国際機関もあり、外国人の割合も多く、更に外国人労働者や外国からの移住者が多く、外国語にあまり抵抗がないようです。そんなお国柄のせいか、約50の教育機関で日本語が教えられており、学習者の数は全体でおよそ2,000人に及ぶようです(国際交流基金調べ2011年)。

先生一人の日本語学校ですが…

Japanese Language Studioは、私一人が教鞭をとる個人経営の小さな語学学校ですが、大型テレビや学習者用のラップトップを備え、30人も座れる教室があります。

私は1990年からスイスに住み、子育てが一段落した1996年頃からある語学学校の依頼で日本語を教え始めました。そして2001年には、個人や企業から直接、日本語指導の依頼を受けることが多くなったので、Japanese Language Studioと、とりあえず語学学校「らしい」名称を決め、教えるのは私一人しかいないのに、「校長」と称して名刺を作り、独立しました。特に企業対象の場合は、学校名の入った請求書と名刺が信頼

性へと繋がります。チューリッヒは金融の街なので、バブルがはじけたあとも日系の銀行は数多く残っていましたし、日本企業と取引をする銀行や保険会社の顧客が多く、会社の会議室を利用した授業が中心でした。

しかし、個人からの授業の依頼も徐々に増え、一般人を対象としたグループレッスンの必要性も感じ始め、2009年、一人娘の独立を機に、チューリッヒ市内に不動産を買い、建物の5階を住居、1階を日本語学校の教室としました。チューリッヒ中央駅から電車で9分、チューリッヒ国際空港からも路面電車で10分と大変便利な所にあります。

今は、平日は毎晩90分2クラスのグループレッスンをしています。加えて毎日ではありませんが、朝6時半からの早朝レッスンや、昼休み時間を利用した出張レッスンも行っています。他にも、都合が合えば、昼間の授業など、出来る限り学習者の希望にそって個人授業をアレンジしています。

グループレッスンは、90分授業が週に1回、年に合計50時間程度しか、学習時間がないのですが、『みんなの日本語』を1年で1冊終えるようにしています。私の授業はテンポが速いのが特徴です。最長でも100時間、最短20時間の授業時間で、日本語知識0の学習者を日本語能力試験N5に合格出来るレベルまで伸ばすようにし、受験を促しています。

日本文化紹介の機能も

当校は、語学学校としてだけでなく文化施設としての機能も備えています。日本のように、一步外を出れば日本語と日本文化が溢れているのとはわけが違いますから、スイスの学習者が日本語や日本文化に触れる環



1時間だけの日本語基礎クラス。日本語学習は初めて。



漢字仮名まじりの文を早くたくさん入力する競争

境を用意することを心がけています。

そこで、不定期ではありますが、文化イベント Japan Evening を年に数回開催しています。テーマは「日本酒」「着物」「日本経済」「Eラーニング」等、様々で、発表は教え子や非日本語話者が英語、もしくはドイツ語で行います。発表のあとはいつも楽しい懇親会で、ワイングラス片手に朝まで話が長くともあります。

また、日本旅行を近い将来予定している方を対象とした「Ready for Japan?」というワークショップも6月に始めました。このワークショップは、日本を徒歩で縦断したトーマス・コーラ氏とのコラボです。

日本語を通して、日本という国を好きになってもらい、多くの人々をスイスから日本に送り出したいと思っています。日本とスイスの架け橋になる人材を育成し、両国の平和と発展に繋がれたいと、壮大な夢を抱きつつ、今日も、赤鉛筆で生徒の個性的な作文の宿題を笑いを堪えながら添削する私でありました。

教材紹介

改訂版 毎日使えてしっかり身につく はじめよう日本語初級

B5 判

TU 東京日本語研修所 著

文型の提出順にも配慮した、話題・場面シラバスの教科書 「はじめよう日本語初級」シリーズを改訂しました！

実生活で使える自然な日本語を、初級のうちから学ばせたいと思ったことはありませんか。『はじめよう日本語初級』は文型を易しいものから難しいものへ積み上げながら、状況・場面に合った「使える」日本語が身につく、初級日本語のシリーズです。

●改訂の内容

初版の発行から7年経過したため、古くなった語彙の入れ替え(例：MD、再入国手続き、外国人登録証)、統計資料の差し替え(例：人口や価格)を行いました。

『メインテキスト』の充実

CDを3枚つけ、音声だけでなくスクリプトと日本語語彙リストも収めました。

ラインナップを環境の変化に合わせて変更

『語彙リスト各国語訳』を紙の書籍(プリントオンデマンド)と電子書籍から選べるように

し、ベトナム語の語彙リストも新たにラインナップに加え発売を予定しています。

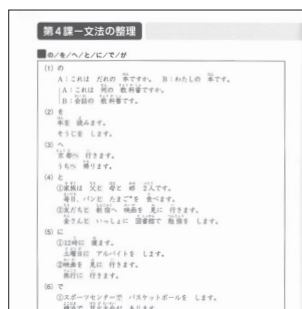
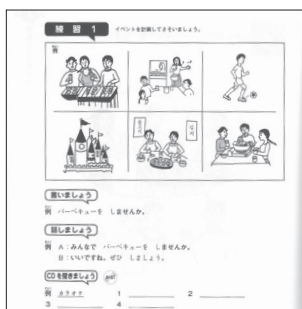
●シリーズの使い方

『メインテキスト』の各課には、「自己紹介」「友達を誘う」「思い出」「わたしの国と日本」や「わたしの今と将来」(以上初級1)など、各課1つずつ場面・状況があります。クラスでは、文型を意識させる代入練習を行いながらも、学習者自身の発話を促し、運用力を重視した教室活動を行います。テキストには練習や活動のすべてに1つの場面・状況が

明示してあります。また、代入練習以外の言葉も掲載してありますから、学習者は語彙を増やしながら自分のことを話せるようになっていきます。

『メインテキスト』で発話の練習を充分行ったあとは、『ドリルと文法』を使って文法の柱を強固にします。前半の「ドリル編」では、各課で学んだ文型を書かせて、基礎文法の力を確実なものにしていきます。後半の「文法編」では、それまでに学習した文型の整理を行い、中級・上級へつなげる力をつけていきます。同じ文型を「ドリル編」と「文法編」で繰り返し学習することで、知識の定着を図ります。

『語彙リスト各国語訳』は、学習者に持たせて、授業の予習・復習に役立ててください。『メインテキスト』のCDにある「新出語彙」の翻訳です。



「改訂版毎日使えてしっかり身につくはじめよう日本語初級」シリーズラインナップ

書店でご購入いただける書籍(発売中)

はじめよう日本語初級1メインテキスト(CD3枚付)	2,730 円(税込)
はじめよう日本語初級1ドリルと文法	1,260 円(税込)
はじめよう日本語初級2メインテキスト(CD3枚付)	2,730 円(税込)
はじめよう日本語初級2ドリルと文法	1,260 円(税込)

プリントオンデマンド*、または電子書籍でご購入いただける書籍(発売予定)

	プリントオンデマンド	電子書籍
はじめよう日本語初級語彙リスト英語訳	2,100 円(税込)	1,260 円(税込)
はじめよう日本語初級語彙リスト中国語訳	2,100 円(税込)	1,260 円(税込)
はじめよう日本語初級語彙リスト韓国語訳	2,100 円(税込)	1,260 円(税込)
はじめよう日本語初級語彙リストベトナム語訳	2,100 円(税込)	1,260 円(税込)
はじめよう日本語初級1授業の進め方	3,150 円(税込)	1,890 円(税込)
はじめよう日本語初級2授業の進め方	3,150 円(税込)	1,890 円(税込)

* プリントオンデマンド：注文に応じて1冊ずつ印刷・製本してお届けするシステムです。
<http://www.3anet.co.jp/ja/144/>

〈採用校の声〉

『はじめよう日本語初級』を導入して以来、「会話がたくさんできてよい」と学生からの評判は上々です。各セクションに活動が用意されており、その日に習った文型を使って模擬会話をするなど、学生の発話の時間が多く、積極的にいろいろな学生と話そうという雰囲気を作り出してくれます。また、「パーベキューに誘う」など、一日一日の授業に明確なコミュニケーション目標設定があり、教師も学生もそれに向かつて授業を進められるのもメリットと考えています。その他にも自然すぎるくらい自然な語彙がどんどんでてくるのもこの教科書の面白みでしょう。

MANABI 外語学院東京校

中級からはじめる ニュースの日本語 聴解 40

瀬川由美・紙谷幸子・北村貞幸 著
2,100 円 (税込)



ニュースが聞けると 日本についても見えてくる!

(財)国際教育振興会日米会話学院日本語研修所
瀬川由美

本書は、「ニュースの日本語 聴解 50 <中級後半～上級レベル>」の姉妹編です。初級の学習を終えた中級レベルの人を対象に、生のニュースが聞き取れるようになることを目指したものです。ニュースの形は決まっています、多くは以下のような3つの構成になっています。

1. 最初の文にポイントが来る。
2. 続いて、ポイントの詳しい説明が来る。
3. 1についてのコメントが来る。

本書では、実際に放送されているニュースと同じ、上記の形式のものを40載せてあります。

内容は、経済、金融、政治、行政、社会、生活など多岐にわたっています。

目次

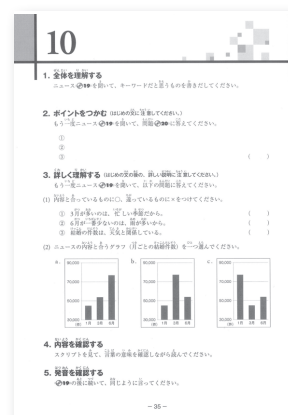
1. ペンギン、逃げ出す
2. 一足先に夏、ビアガーデンオープン
3. 心を持つ掃除機
4. 避難訓練
5. 大手ビールメーカー、顧客とネット上でビール開発
6. お盆の帰省ラッシュ
7. 眠い日本人
- ...
39. 太陽が活動低下?
40. 東京 23 区的生活保護率

各ニュースには1～5のタスクがあり、45分

で学習できるように作成しました。タスクを行いながら、ニュースの構成と内容が理解できるようにになっています。

CDには、各ニュースの音声収録されています。各ニュースの重要語彙は、英語・中国語・韓国語の訳を付けて別冊にまとめてあります。また、ニュースでよく使われる決まった表現も「ニュース重要表現」として載せました。タスクとニュースのスク립トに出てくる漢字には、ふりがながあるので、独習用としてもお使いいただけます。

本書を通じて、ニュースのおもしろさを知ると同時に、日本の社会で日々起きている出来事について理解を深める助けとなれば幸いです。



ベトナム語を母語とする日本語学習者にお勧めの教科書は?

日本国内では、ベトナム語を母語とする日本語学習者が急増しています。日本語学習の際に、ベトナム語の助けが必要な学習者も多いようですので、当社の日本語教材でベトナム語関連の教材をご紹介します。

<中級>

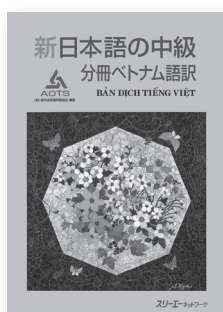
新日本語の中級 分冊 ベトナム語訳

1,785 円 (税込)

新日本語の中級 文法解説書 ベトナム語版

1,680 円 (税込)

『新日本語の中級 本冊』に準拠した教材です。『CD』や『会話DVD』などの副教材も充実した中級のシリーズです。



<初級>

「みんなの日本語初級」シリーズ

みんなの日本語 初級Ⅰ 本冊 第2版 翻訳・

文法解説ベトナム語版 2,100 円 (税込)

みんなの日本語 初級Ⅰ 本冊 翻訳・文法解説

ベトナム語版 2,100 円 (税込)

みんなの日本語 初級Ⅱ 本冊 翻訳・文法解説

ベトナム語版 2,100 円 (税込)

初級の定番、『みんなの日本語』はベトナム語訳もそろっています。第2版でも、Ⅱの『翻訳・文法解説ベトナム語版』も発売予定です。

「日本語初級 大地」シリーズ

日本語初級1 大地 語彙訳 (無料)

同じく初級教科書のシリーズ『日本語初級 大

地』では、当社 HP に各課の新出語彙リストのベトナム語訳をご用意しています。無料でダウンロードできますので、ご自由にお使いください。そのほか、インドネシア語訳、タイ語訳もダウンロードできます。



<文字・語彙>

一人で学べる ひらがな かたかな ベトナム語版 (CD 付) 1,470 円 (税込)

最初の文字学習が母語でできると学習者の負担がかなり軽くなります。





なんでも情報 BOX

Books ほん

すべて税込価格です

中級からはじめる ニュースの日本語 聴解 40	7月発行予定	2,100 円(税込)
みんなの日本語 初級II 第2版 導入・練習イラスト集	9月発行予定	2,520 円(税込)
みんなの日本語 初級II 第2版 絵教材CD-ROMブック	11月発行予定	3,150 円(税込)

入賞作決定!

当社 40 周年記念作文コンテストにご応募いただきありがとうございます。

厳正なる審査の結果、以下の方々に入賞作が決定いたしました。

課題作文「私の街」

大賞(当社書籍 30,000 円分):

ハンナ・ユイカ様(ポーランド共和国 グダニスク)

入賞(当社書籍 20,000 円分):

古川俊雄様(大分県大分市)

佳作(当社書籍 10,000 円分):

小池律江様(東京都江東区)

鬼一三様(カンボジア シェムリアップ)

自由作文

大賞(当社書籍 30,000 円分): 該当なし

入賞(当社書籍 20,000 円分):

浅井華代(滋賀県彦根市)「ベトナムのパンはフランスパン?」

佳作(当社書籍 10,000 円分):

米田恵子(兵庫県神戸市)「私のネタ帳」

入賞作品については次号 Ja-Net67 号でご紹介予定です。

課題作文では「いつも当たり前」に学習者に書かせていましたが、初級で作文を書くのがこんなに難しいと思いませんでした」などご感想もいただきました。日々、例文を考えていらっしゃる先生方のご苦労がうかがわれます。

そこでこれを機に、日本の「私の街」だけに限らず、世界中の「私の街」を紹介する機会を作りたいと考えています。ぜひその際にはご協力ください。

①兵庫日本語ボランティアネットワーク 2013 年度研修会「コミュニケーション力をつけるー『おしゃべりのたね』を使って」 in 神戸

ボランティアとして活動する場合、いかに学習者の方たちに発話してもらうか、というのはいつも課題となっていると思います。いろいろ話しかけてもなかなか日本語で返ってこない、ついボランティアばかり話してしまって、学習者はほんの少ししか話せなかったなどいろいろと抱えている課題があるかと思ひます。どうすれば学習者に自ら発話してもらう場に行けるのか、『おしゃべりのたね』の著者が実際にどう教材を活用すればいいのかをご紹介します。学習者・ボランティア双方のコミュニケーション力について一緒に考えてみませんか。

講 師: 澤田幸子(『おしゃべりのたね』著者)

日 時: 8月25日(日) 13:30 ~ 16:30

(受付 13:00、交流会 15:40 ~ 16:30)

会 場: 神戸市立総合福祉センター4F第2会議室
(神戸市中央区橘通 3-4-1)

定 員: 60 名(先着順、定員になり次第、締め切ります。)

参加費: 兵庫日本語ボランティアネットワーク会員、
学生 500 円 非会員 1000 円

問合せ/申込み先: 兵庫日本語ネットワーク

E-mail: hnnv.kobe@gmail.com

FAX: 078-741-3465 / TEL: 090-4296-4648 (後藤)

主催: 兵庫日本語ボランティアネットワーク、スリーエーネットワーク

②日本語教材まつり 2013「教材作成により教師力を上げよう」 in 大阪

講 師: 西原純子(京都日本語教育センター京都日本語学校長)

根津誠(国際交流基金日本語国際センター専任講師、『教科書を作ろう』共著者)

松田浩志(『テーマ別 中級から学ぶ日本語』共著者)

村上京子(名古屋大学留学生センター教授、『日本語教育叢書「つくる」テストを作る』共著者)

日 時: 8月31日(土) 10:30 ~ 17:30

会 場: 大阪梅田センタービル 16 階 E 会議室
(大阪市北区中崎西 2-4-12 梅田センタービル)

対 象: 日本語教育に興味のある方

参加費: 1,000 円

定 員: 100 名(先着順。定員になり次第、締め切ります)

申込み: イベント名、開催日時、申込者氏名・住所・電話番号・メールアドレスを下記宛にご連絡の上お申し込みください。

問合せ/申込み先: 凡人社営業部(坂井)

TEL: 03-3263-3959 FAX: 03-3263-3116

E-mail: ksakai@bonjinsha.co.jp

主 催:

アルク、研究社、スリーエーネットワーク、凡人社

③スリーエーネットワーク主催研修会『みんなの日本語 初級 第2版』改訂のポイント in 福岡

2012 年 8 月以降、『みんなの日本語 初級 第2版』として、改訂版の発行を行っています。そして、今年 3 月に『みんなの日本語 初級II 第2版 本冊』を発行いたしました。シリーズの柱となる主教材がそろいましたので、第2版の改訂のポイントについて

ご紹介します。

講 師: 田中よね(『みんなの日本語初級 第2版』執筆協力者)

日 時: 10月26日(土) 14:00 ~ 16:00 (受付 13:30)

会 場: 九州英数学館国際言語学院 41 番教室(福岡福岡市中央区舞鶴 1-5-30)

定 員: 100 名(先着順。定員になり次第、締め切ります。)

参加費: 無料

問合せ/申込み先: スリーエーネットワーク講座係

TEL: 03-5275-2722 FAX: 03-5275-2729

E-mail: kouza@3anet.co.jp http://www.3anet.co.jp
102-0083 東京都千代田区麹町 3-4 トラスト麹町ビル 2F

お名前・ご所属・ご住所・お電話番号を明記してください。

主 催: スリーエーネットワーク

40 周年記念キャラクターできました!

縁起のよいダルマのような体つきの「ももちゃん」は、頭のてつぺんが「3」、体の形が「A」を表しています。どうぞよろしくお願いいたします!



Ja-Net No. 66 季刊ジャネット

スリーエーネットワークという社名は、アジア (Asia)、アフリカ (Africa)、ラテン・アメリカ (Latin America) のいわゆる発展途上国の多くが存在する三つの地域をネットワークでつなぎ、相互理解と友好促進を図ろうという趣旨をシンボライズしています。

2013 年 7 月 25 日発行

●発行人 小林卓爾

●発行所 (株) スリーエーネットワーク

営業広報部 Ja-Net 編集室

〒102-0083 東京都千代田区麹町 3-4

トラスト麹町ビル 2F

TEL: 03-5275-2722 FAX: 03-5275-2729

E-mail: sales@3anet.co.jp

http://www.3anet.co.jp/

●印刷 日本印刷(株)

© 2013 by 3A Corporation Printed in Japan

(禁無断転載)

●『Ja-Net』をご希望の方はお名前・ご住所・ご所属を編集室までお知らせください。無料でお送りいたします。『Ja-Net』第 67 号は 2013 年 10 月 25 日発行です。